

# 院内がん登録統計 (平成31年/令和元年)

- このデータは平成31年1月1日～令和元年12月31日の間に、  
当院の入院および外来で、診断や治療等を行った悪性新生物及び中枢神経系腫瘍、  
消化管間質腫瘍（GIST）、一部の境界悪性の卵巣腫瘍を  
「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」  
に基づき登録し、当院が独自に集計したものです。
- 「項目番号420：症例区分」が「80:その他」も含んだ集計となっています。
- 部位別の集計を参照の際は、「部位別の集計表を見るとき の注意点」を  
お読みください。

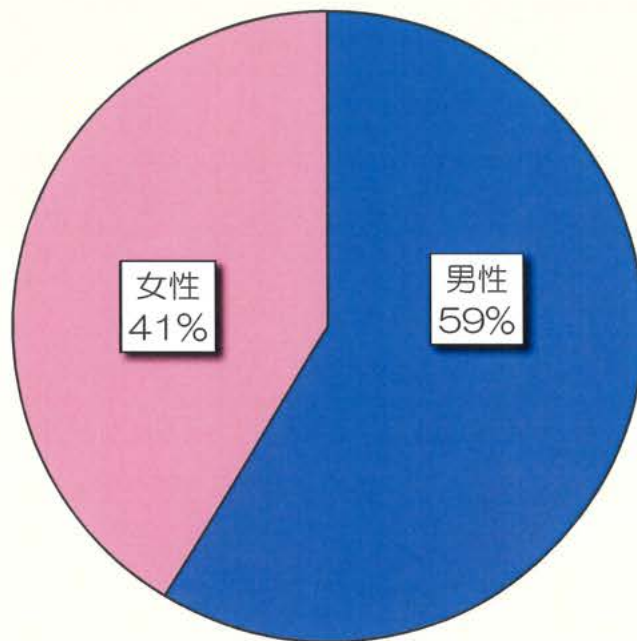
## -目次-

1. 男女の割合と登録件数
2. 性別年齢階層別の割合
3. 原発部位別の登録割合
4. 症例区分別の登録割合
5. 都道府県別及び市区町村別の登録割合
6. 来院経路の割合
- ※部位別の集計表を見るとき の注意点
7. 上位10部位性別年齢階層別登録割合及び治療内容割合
  1. 肺
  2. 大腸(結腸・直腸)
  3. 乳房
  4. 前立腺
  5. 胃
  6. 食道
  7. 膵臓
  8. 肝臓
  9. 口腔・咽頭
  10. 脳・中枢神経系

# 男女の割合と登録件数

男女比率	2019		
	男性	女性	合計
登録件数	492	346	838
割合	59%	41%	100%

男女の割合



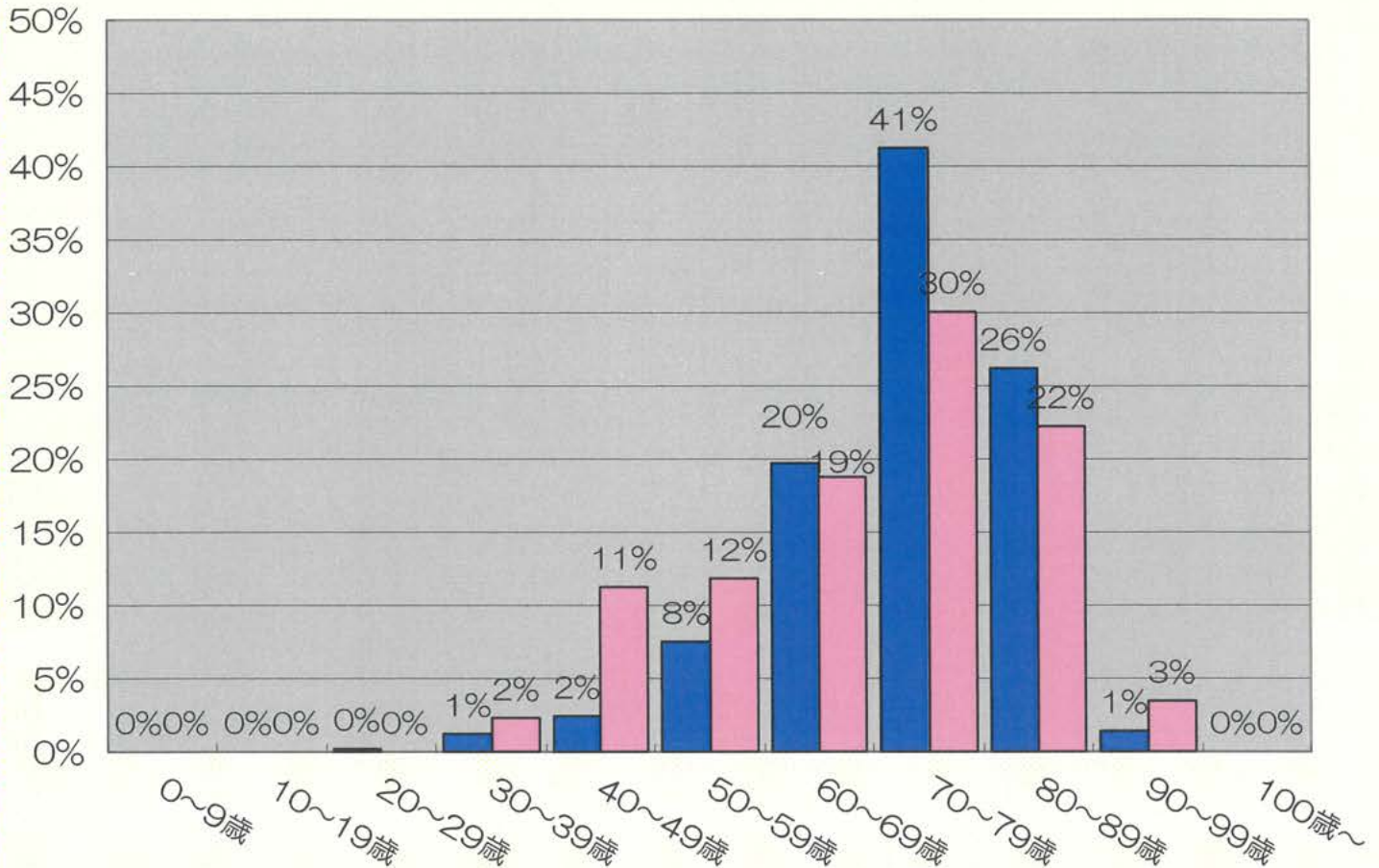
○ 男性の悪性新生物等の登録件数は492件、女性の悪性新生物等の登録件数は346件です。

○ 男女比率は、男性が59%、女性が41%です。

# 性別年齢階層別の割合

性別年齢階層別の登録割合

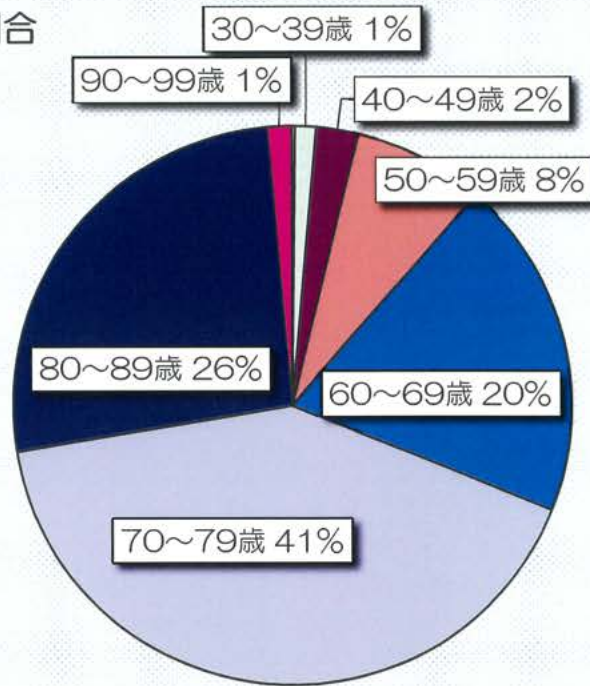
登録件数=838



○ 年齢層は、男性・女性とも70歳~79歳が最も多く、次いで80歳~89歳、60歳~69歳の順で多くなっています。

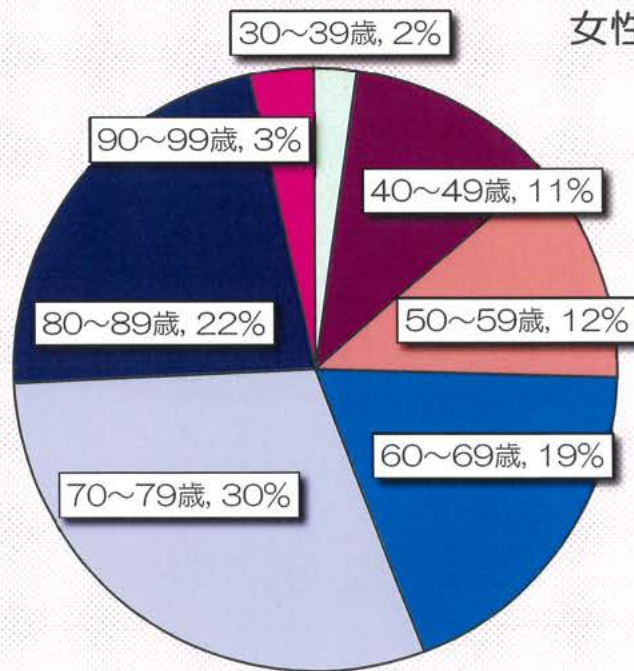


### 男性の年齢階層別の割合



登録件数=492

### 女性の年齢階層別の割合

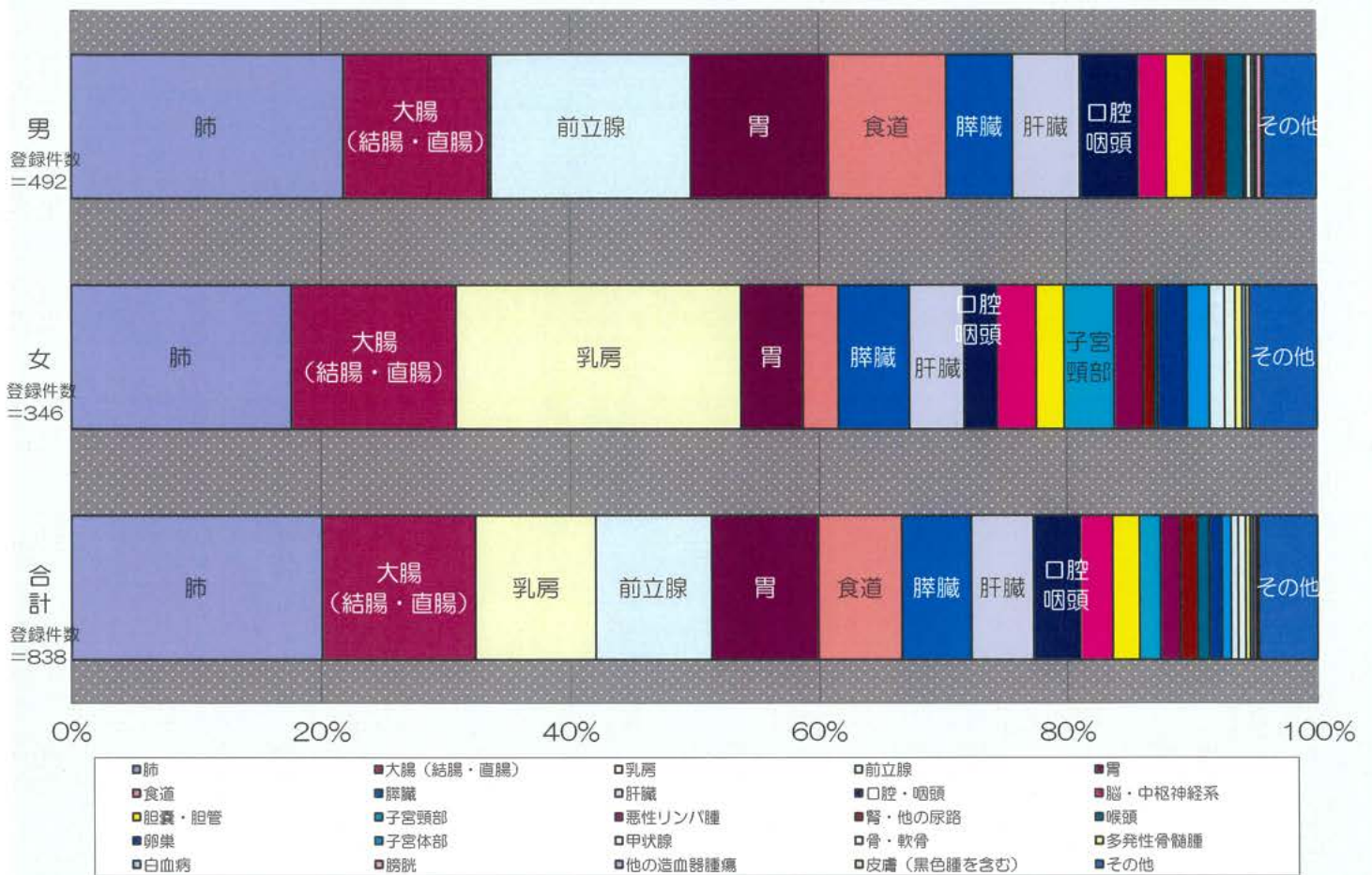


登録件数=346

○ 当院では、男性は高い年齢層の割合が高く、女性は男性に比べ低い年齢層（40歳代・50歳代）の割合が高くなっています。



# 原発部位別の登録割合

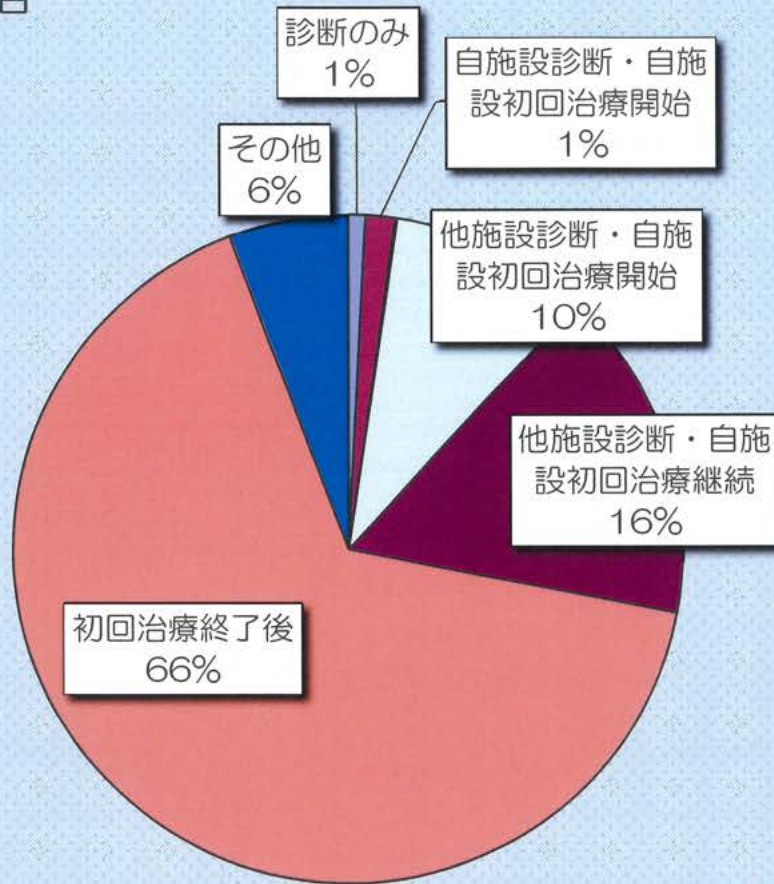


○男性は、1：肺 2：前立腺 3：大腸(結腸・直腸) 4：胃 5：食道の順で割合が高くなっています。女性は、1：乳房 2：肺 3：大腸(結腸・直腸) 4：膵臓 5：その他の順で割合が高くなっています。全体では、1：肺 2：大腸(結腸・直腸) 3：乳房 4：前立腺 5：胃の順で割合が高くなっています。



# 症例区分別の登録割合

症例区分別の割合



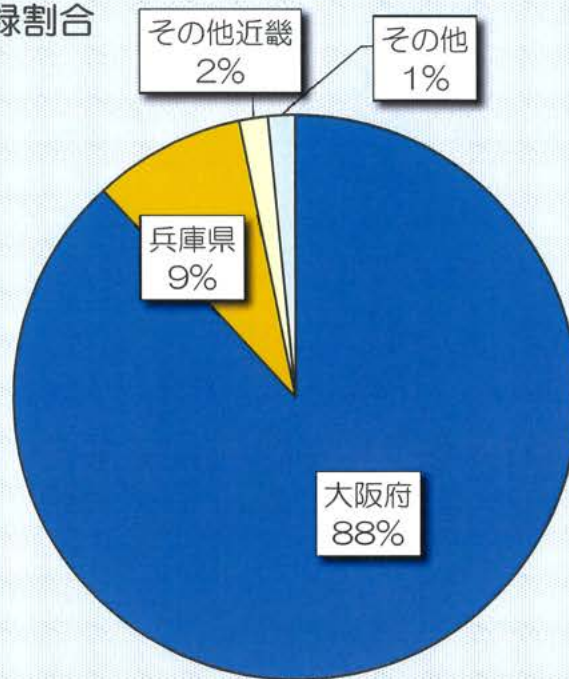
登録件数=838

○当院では、①初回治療終了後（初回治療が終了した後の継続治療や、再発や転移したがんの治療）の割合が最も高く、次いで、②他施設診断・自施設初回治療継続（他施設で診断・初回治療が開始され、その初回治療継続の症例）、③他施設診断・自施設初回治療開始（他施設で診断され、当院で初回治療開始された症例）の順で割合が高くなっています。



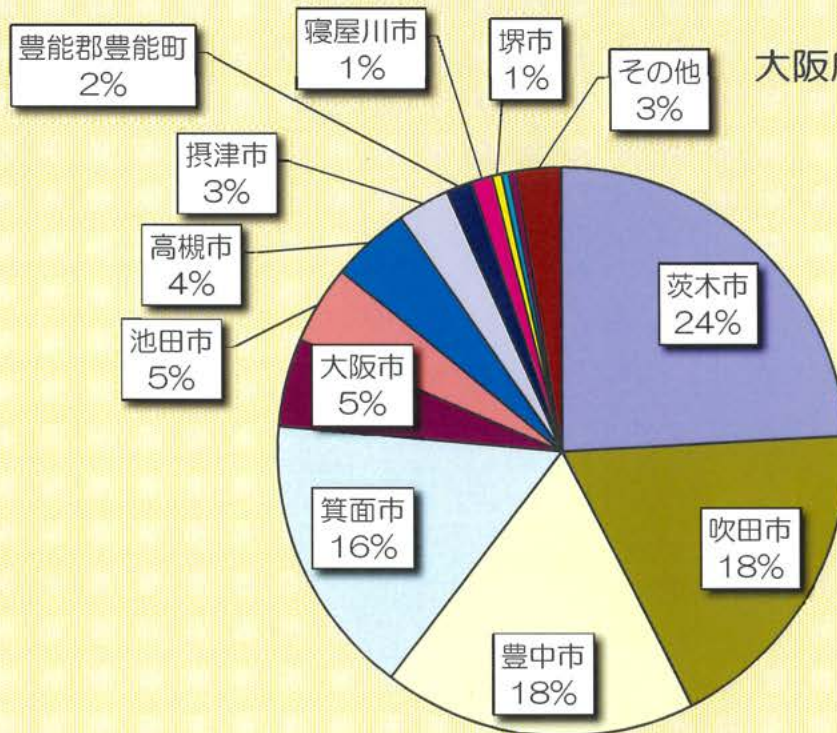
# 都道府県別及び市区町村別登録割合

都道府県及び地方別の登録割合



登録件数=838

大阪府内の市区町村の割合



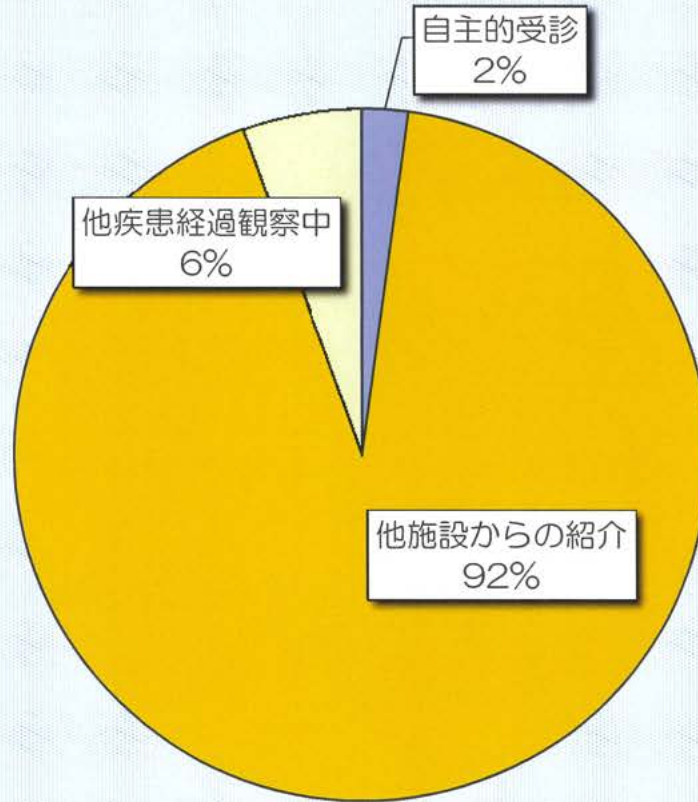
登録件数=738

○都道府県別では、大阪府が88%で兵庫県が9%、その他近畿地方が2%という割合になっています。  
○大阪府内で見ると、茨木市、吹田市、豊中市、箕面市の順で割合が高く、76%を占めています。次いで大阪市、池田市、高槻市、摂津市という順になっています。



# 来院経路の割合

来院経路別の割合



登録件数=838

○来院経路の比率は、他施設からの紹介が最も多く、次いで他疾患経過観察中（自施設で他疾患により経過観察中にがんと診断あるいはがんが疑われた場合）、自主的受診の順となっています。



## ※部位別の集計表を見るとききの注意点

○以下の部位別の集計は、当院独自の集計方法となりますので、  
下記を確認の上ご参照ください。

※部位別の集計では、初回治療、初回治療継続症例だけでなく、  
初回治療終了後の再発・転移症例等を含む、全ての登録情報で集計を  
行っています。

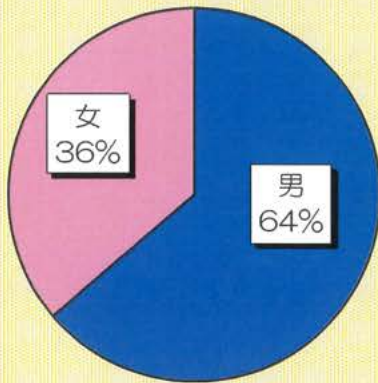
※放射線治療には症状緩和的治療（除痛目的の放射線治療）が含まれており、  
原発巣に対する治療だけでなく、転移巣や再発巣に対する治療や腫瘍の  
縮小目的以外の治療も含まれています。

※治療内容の「その他」は、外来診療や一般病棟での加療及び対症療法（症状緩和を  
目的とした薬物療法等）や経過観察等になります。

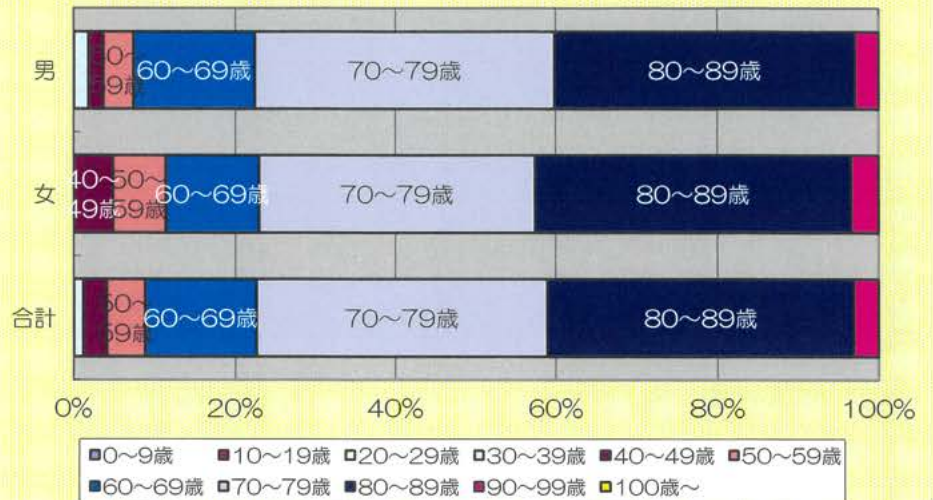


# 1. 肺

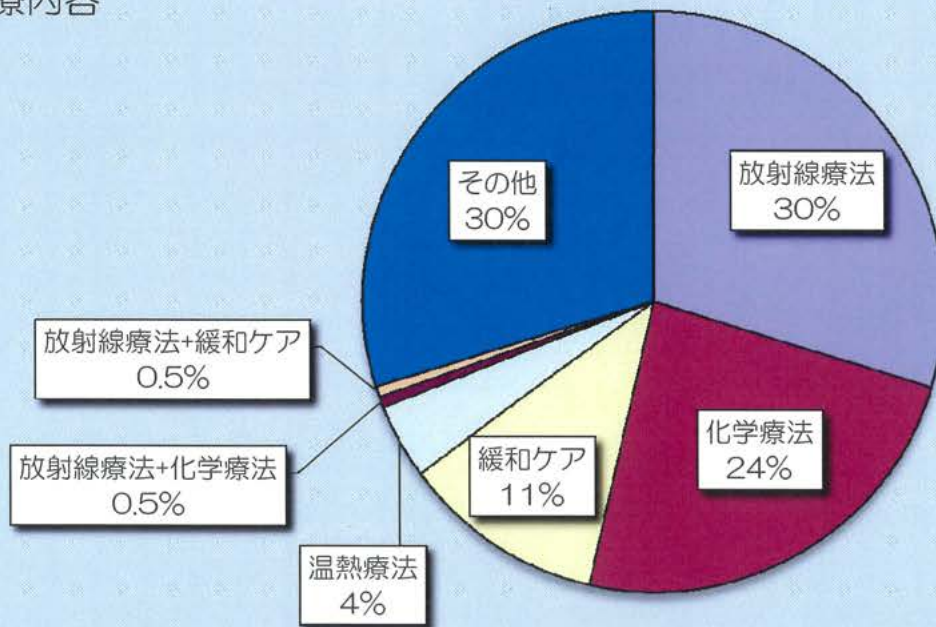
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肺がんの登録件数は168件です。

○当院では、肺がんの男女比率は男性が64%、女性が36%となっています。

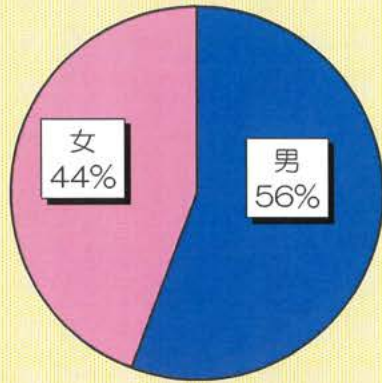
○年齢階層では、男女とも70~79歳、80~89歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、放射線治療が多く、次いで化学療法、緩和ケア、温熱療法の順となっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も30%と多くなっています。

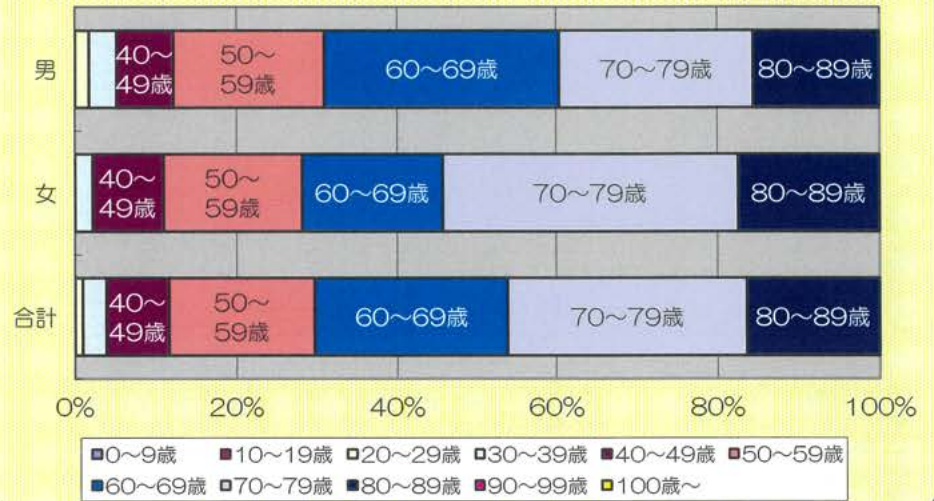


## 2. 大腸(結腸・直腸)

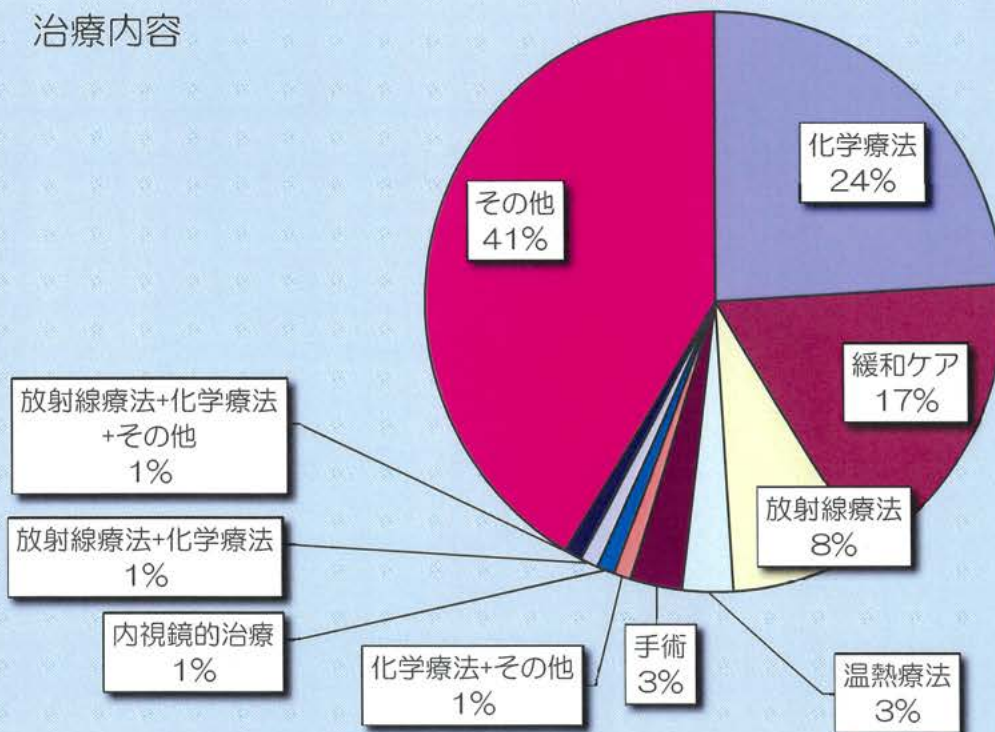
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○大腸がんの登録件数は104件です。

○当院の大腸がんの男女比率は、男性が56%で女性は44%となっています。

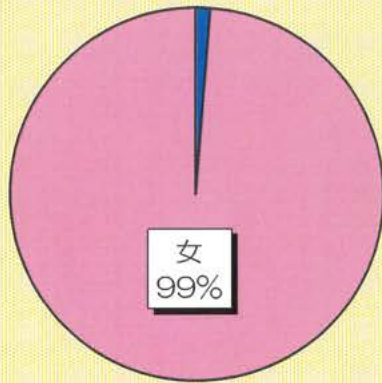
○年齢階層では、男性は、60~69歳・70~79歳が高くなっています。女性は男性に比べ70~79歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、化学療法の割合が最も高く、次いで緩和ケア、放射線療法、温熱療法、手術の順となっています。

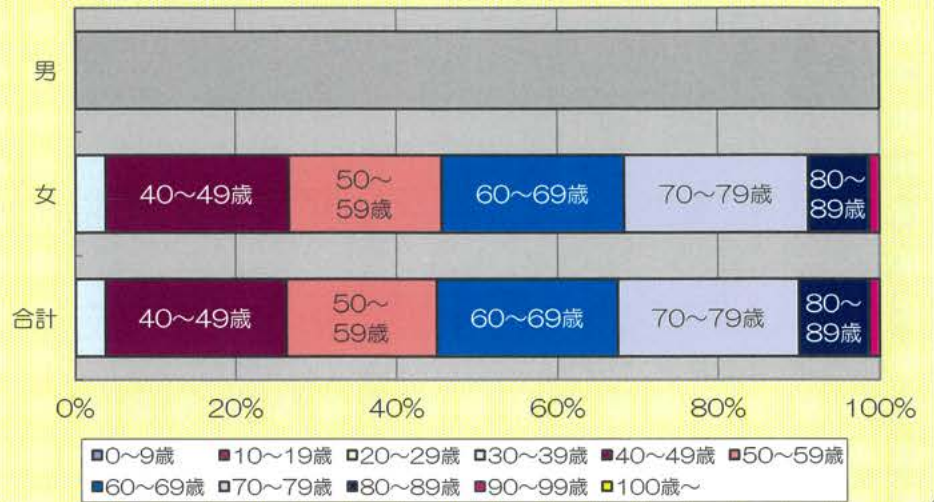


### 3.乳房

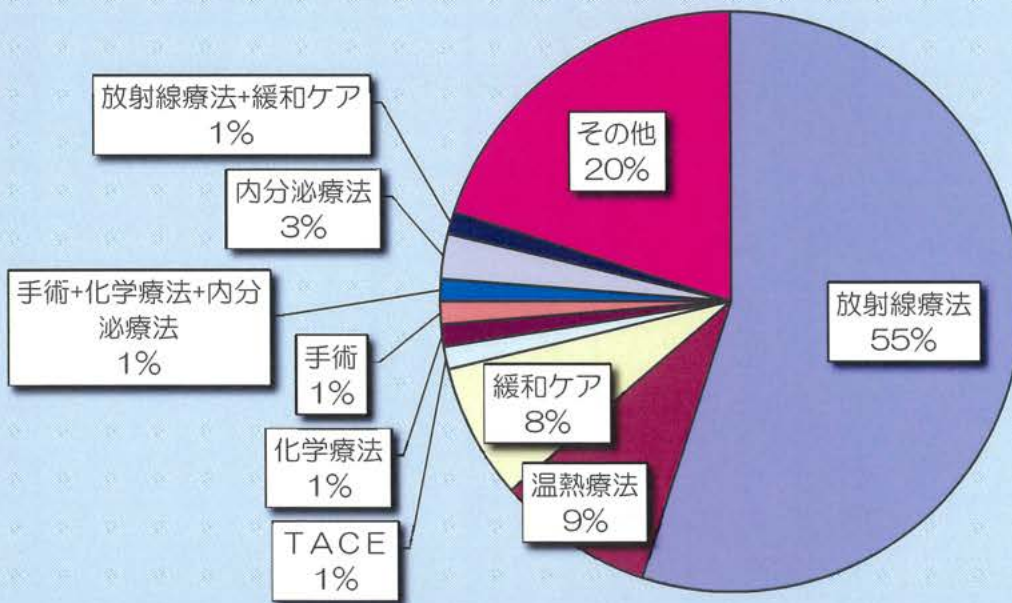
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○乳がんの登録件数は80件です。

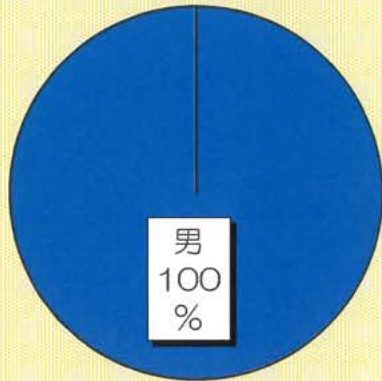
○乳がんでは、40~49歳、50~59歳、60~69歳、70~79歳の割合が高く、他の部位に比べ年齢の若い方の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、放射線療法の割合が最も高く、次いで温熱療法、緩和ケアの順となっています。



## 4. 前立腺

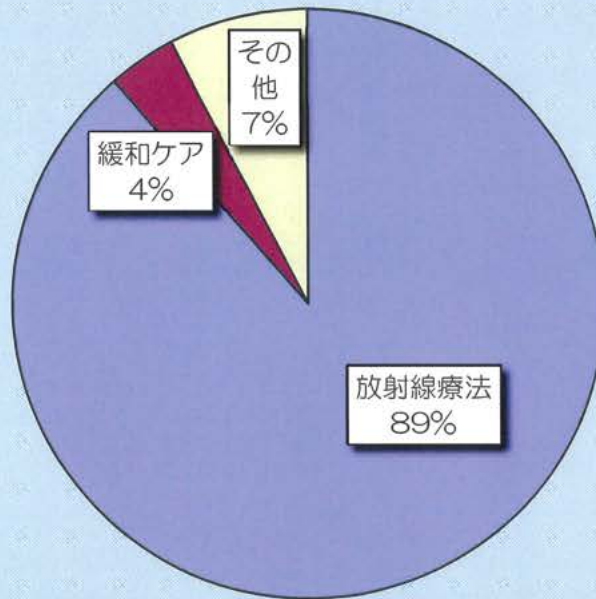
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容

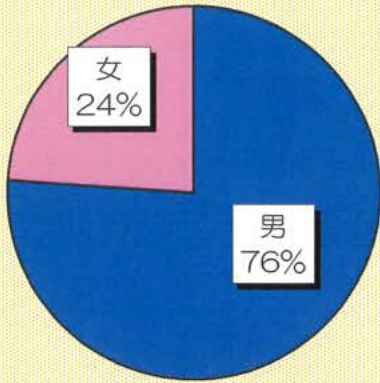


- 前立腺がんの登録件数は79件です。
- 前立腺がんは男性の疾患です。
- 年齢階層は、70~79歳の割合が最も高くなっています。
- 治療の内訳は、放射線療法の割合が最も高くなっています。

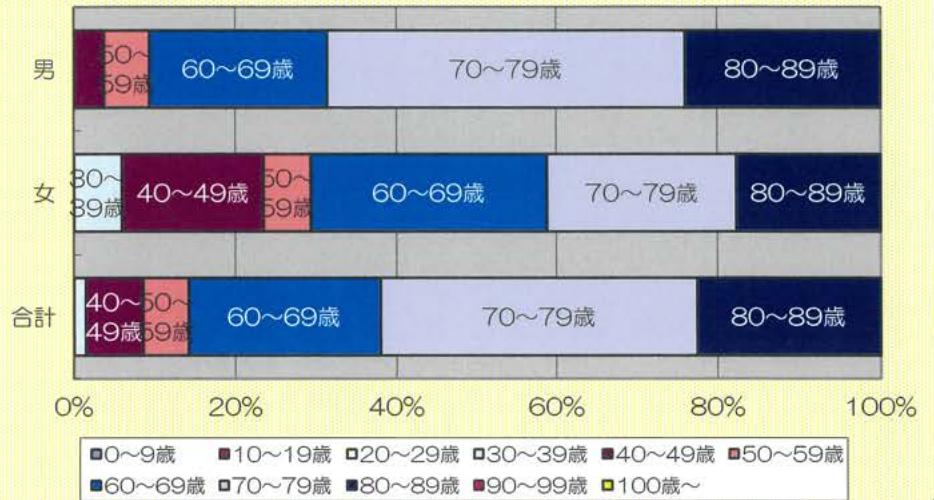


# 5. 胃

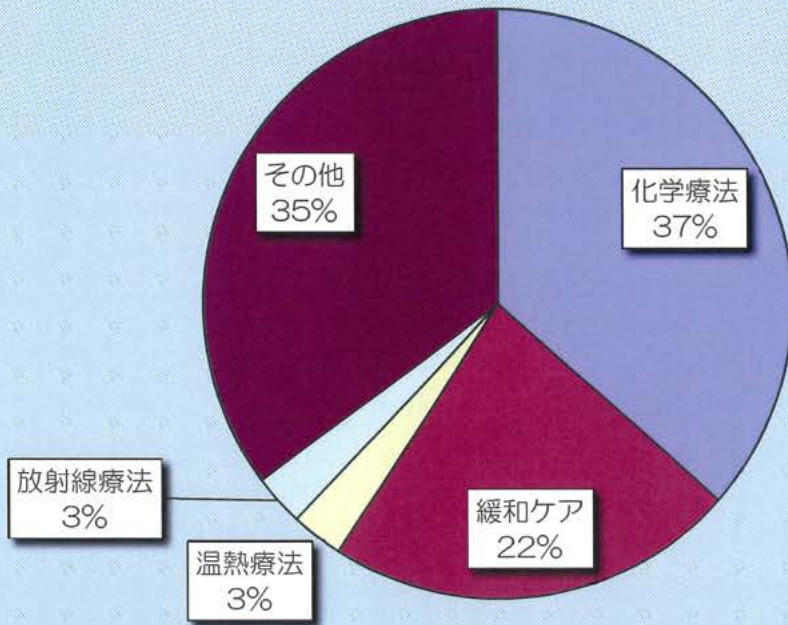
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○胃がんの登録件数は71件です。

○胃がんの男女比率は、男性が76%、女性が24%となっています。

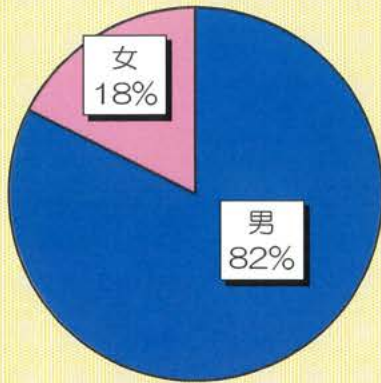
○年齢階層では、男性では、70~79歳の割合が高く、女性は、60~69歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、化学療法、緩和ケア、温熱療法、放射線療法があります。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も35%と高くなっています。

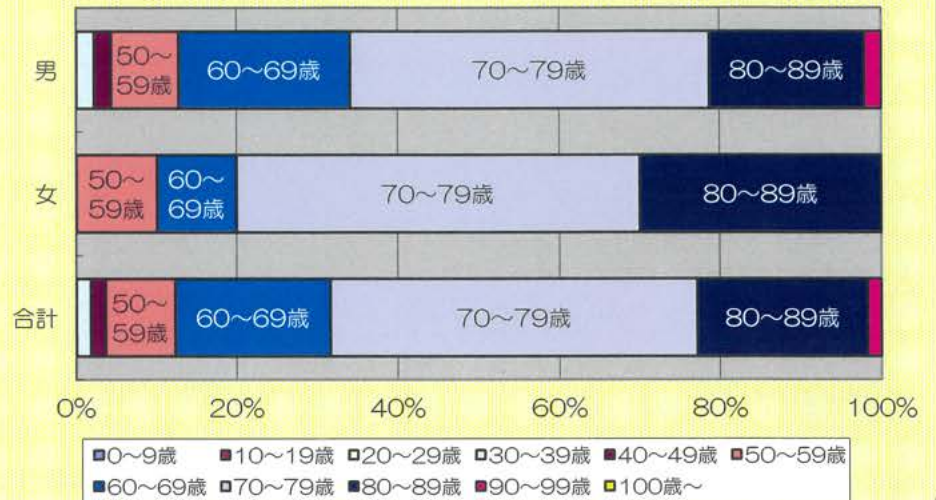


## 6. 食道

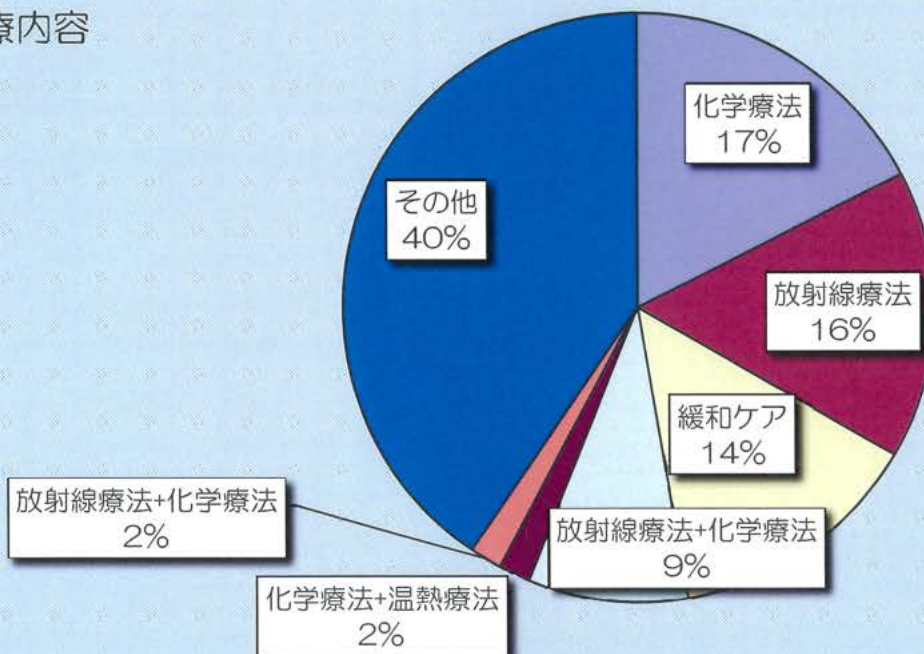
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○食道がんの登録件数は57件です。

○食道癌の男女比率は、男性が82%と当院では高くなっています。

○年齢階層では、男性は70~79歳・60~69歳の割合が高く、女性は70~79歳・80~89歳の割合が高くなっています。

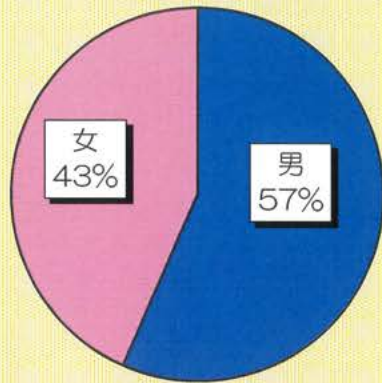
○治療は、化学療法、放射線療法、緩和ケア、集学的治療があります。

その他（対症療法等の加療、経過観察等）も40%と高くなっています。

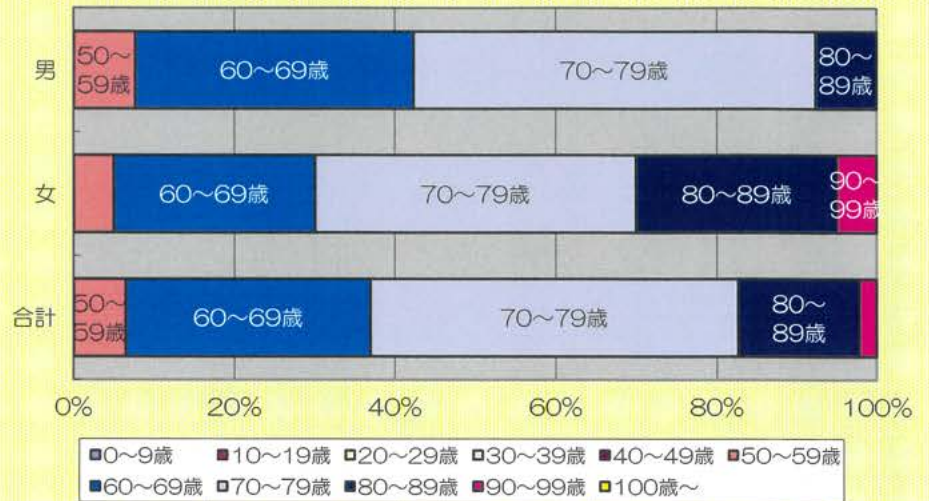


# 7. 膵臓

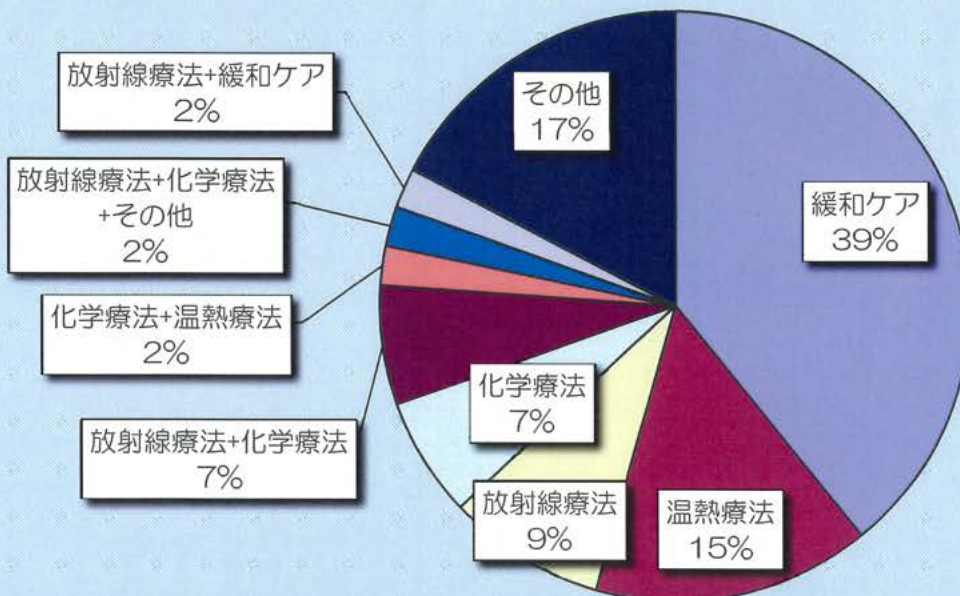
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○膵臓がんの登録件数は46件です。

○膵がんの男女の割合は男性が57%、女性が43%となっています。

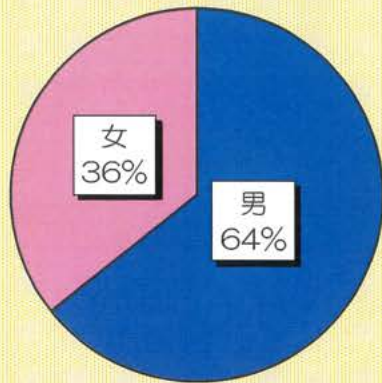
○年齢階層では、男性では70~79歳・60~69歳の割合が高く、女性は70~79歳、次いで60~69歳・80~89歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、緩和ケアの割合が最も高く、次いで温熱療法、放射線療法、化学療法の順となっています。

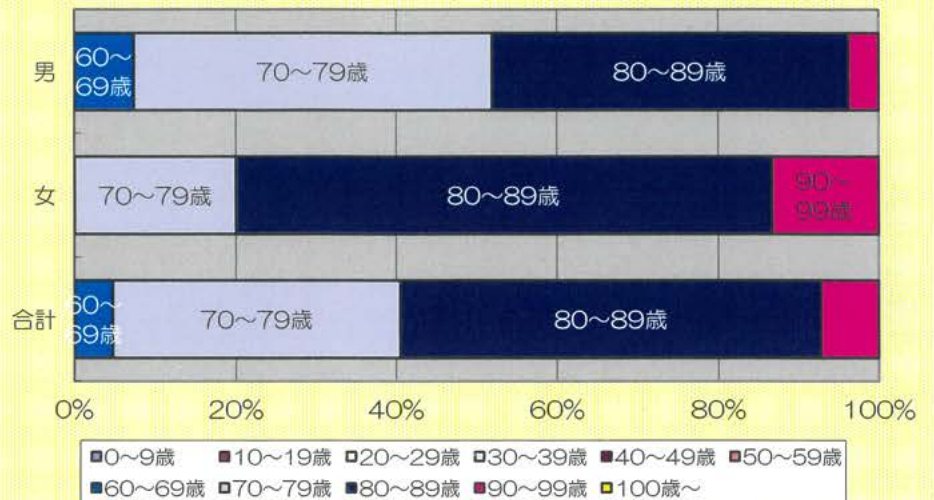


## 8. 肝臓

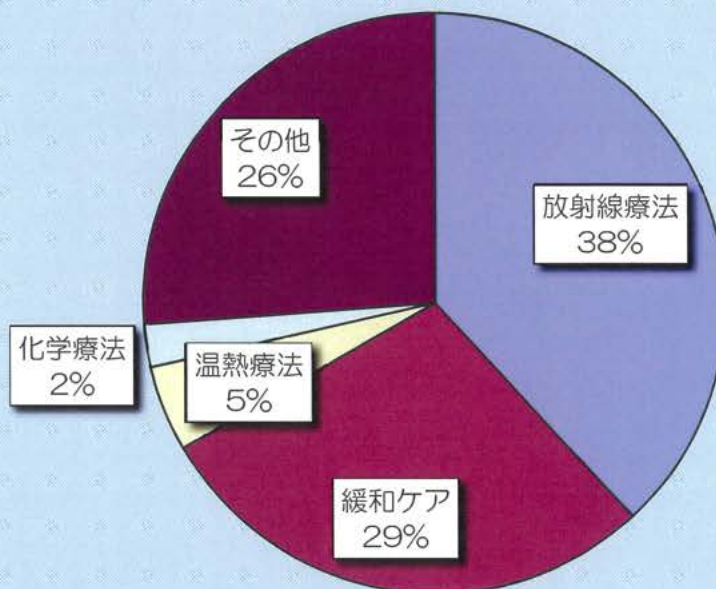
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肝臓がんの登録件数は42件です。

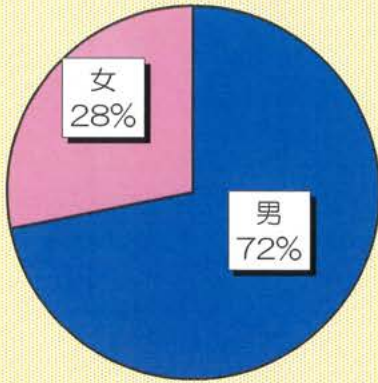
○肝臓がん、肝内胆管がんの男女比率は、男性が64%、女性が36%となっています。

○年齢階層は、男性は70~79歳・80~89歳の割合が高く、女性は80~89歳の割合が高くなっています。

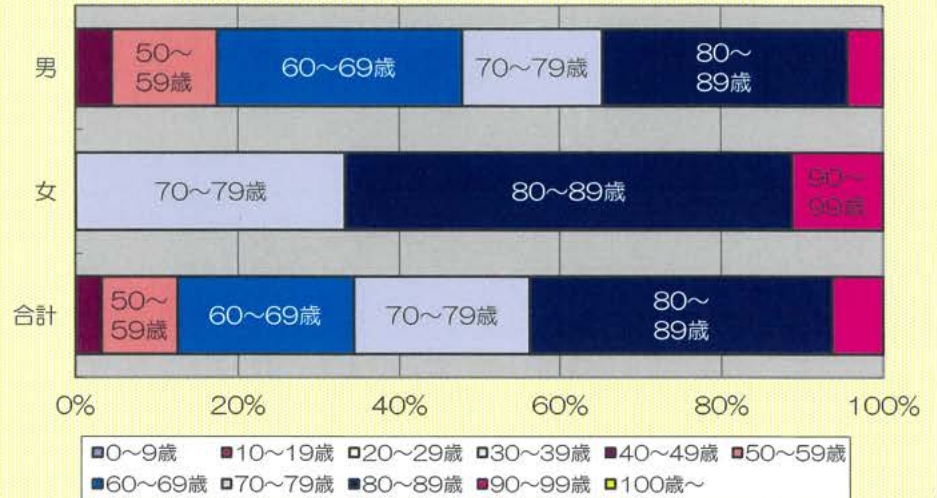


## 9. 口腔・咽頭

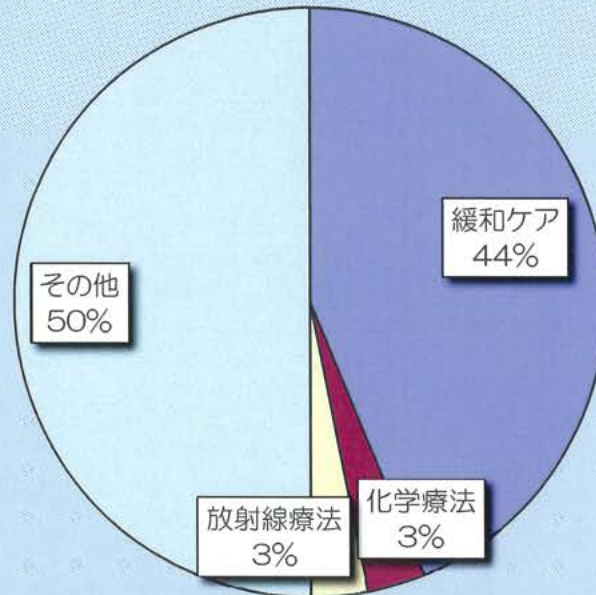
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○口腔・咽頭がんの登録件数は32件です。

○口腔・咽頭がんの男女比率は、男性が72%、女性が28%となっています。

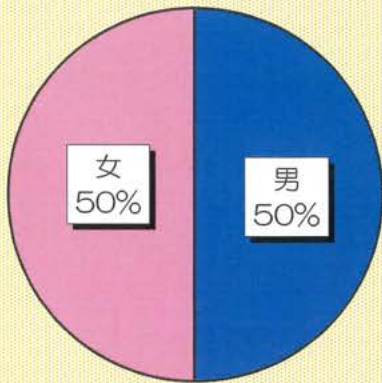
○年齢階層では、男性では、80~89歳・60~69歳が多く、女性では、80~89歳・70~79歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、その他（対症療法等の加療や経過観察等）の割合が50%を占め最も高くなっています。次いで緩和ケアの割合が44%と高くなっています。

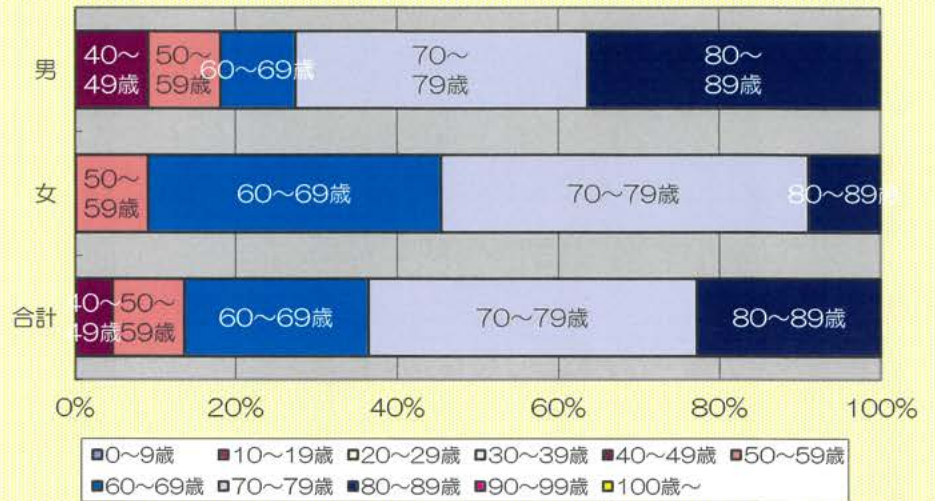


# 10. 脳・中枢神経系

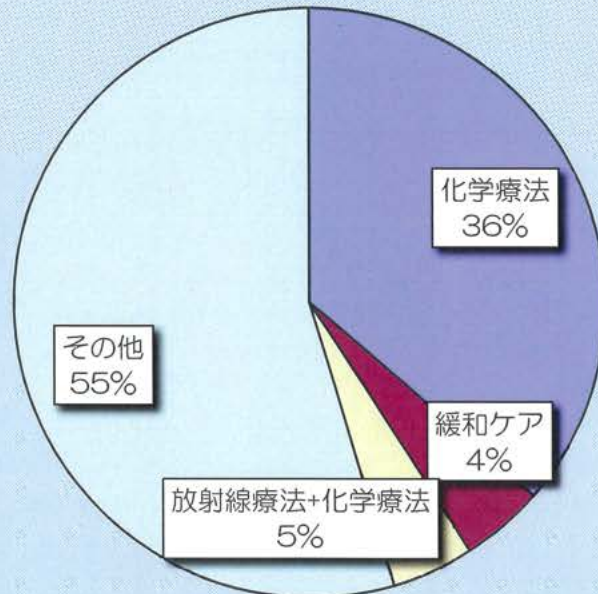
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



- 脳・中枢神経系のがんの登録件数は22件です。
- 脳・中枢神経系のがんの男女比率は半々でした。
- 年齢階層では、男性では、70~79歳・80~89歳の割合が高くなっており、女性は70~79歳・60~69歳の割合が高くなっています。
- 治療内容では、その他（対症療法等の加療や経過観察等）も55%と割合が最も高くなっています。次いで化学療法が36%となっています。